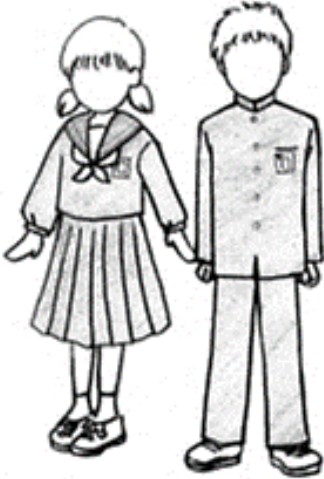
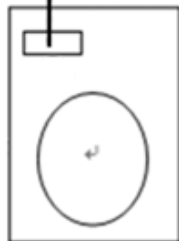
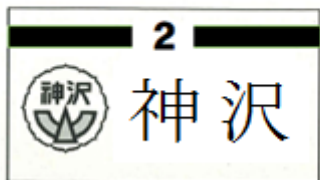


制服の着用のしかた

令和6年4月8日

	従来の制服	新制服
デザイン		
冬服	【学生服】 ・黒つめえり標準学生服。カラーをつける。(ソフトカラーも可。) ・服の下は、長袖の白無地のカッターシャツもしくは白無地の開襟半袖シャツ着用。 【セーラー服】 ・濃紺の長袖セーラー服。 ・えりに1 c m幅の白線1本(えり縁より2 c m内側)。 ・スカーフは白色三角巾を使用。	・学校指定のブレザーを着用する ・ブレザーのボタンは学校指定のボタンで留める。 ・前合わせは、「スイッチモデル」であるため、自ら選択する。 ・ブレザーの下は、長袖か半袖のカッターシャツもしくはポロシャツを着用する。(シャツの色は、水色または白色とする。)
合服	【学生服】 ・長袖の白無地のカッターシャツ。登下校も可。 【セーラー服】 ・白色長袖セーラー服。えりは濃紺。 ・えりに1 c m幅の白線1本。 ・スカーフは紺色三角巾を使用。	・長袖のカッターシャツもしくはポロシャツを着用する。
夏服	【学生服】 ・白色の開襟半袖シャツ。 【セーラー服】 ・白色の半袖セーラー服。 ・えりは濃紺で1 c m幅の白線1本。 ・スカーフは紺色三角巾を使用。	・半袖のカッターシャツもしくはポロシャツを着用する。

ズボン スカート スラックス	【ズボン】 ・ 黒色の標準学生ズボン。 (裾はダブルでもシングルでも可。) 【スカート】 ・ 濃紺のスカートを着用する。	・ 学校指定のスラックス、スカートのいずれか を選択する。 ・ スラックスは床にすらない程度の長さとする。
	・ スカートは膝が隠れる程度の長さとする。	
ベルト	黒、紺、こげ茶のベルトを必ず着用。華美でないもの。エナメル質のものは不可。	
シャツ	・ シャツは場面や気温に応じて、長袖の白無地のカッターシャツもしくは白色の開襟半袖シャツを選択する。	・ シャツは場面や気温に応じて、長袖カッターシャツ、長袖ポロシャツ、半袖カッターシャツ、半袖ポロシャツの中から選択する。 ・ シャツの色は、水色または白色とする。
	・ シャツの裾はスラックス・スカート（新制服のみ）に入れる。 ・ シャツの第一ボタンは外して、着用してもよい。	
肌着	・ 白を基調としたもの ・ ロゴやその他の色が見えたり、透けたりしないようにする	・ 肌着は無地で、シャツに透けて見えない地 味な色のものを着用する。
	・ シャツの下には肌着を必ず着用し、肌着は制服からはみ出ないものを着用する。	
靴下	・ 白・黒色で無地もしくはワンポイントのもの	・ 白・黒色で無地もしくはワンポイントのものを着用する。
履き物	・ 上履きは、学校指定のものを着用する。 ・ 運動靴は白を基調としたものを着用する（くつひもは白）。 ハイカットのものは着用しない。 ・ 雨天時は、運動靴の代わりに長靴を着用してもよいが、下駄箱の自分のスペースに入る長さのものにする。 ・ 履物には必ず記名をする。	
防寒着	・ 冬服の下にセーター、トレーナー、ベスト、カーディガンを着用してもよい。	・ ニット系のセーター、ベスト、カーディガンをシャツ類の上に着用してもよい。(トレーナーやダウンベストは着用しない) ・ カーディガンを着用するときは、ボタンを留めて着用する。
	・ 防寒着の色は白、黒、紺、茶、灰色などの華美でない色で、無地もしくはワンポイントのものを着用する。 ・ 袖に手が隠れないように着る。 ・ お尻が隠れるほど丈が長かったり、上着の袖や裾からはみ出し過ぎるものは着用しない。	

	・校内でも各自の判断で脱ぎ着し、体調管理に努める。 ・防寒のために、黒のタイツやレギンスを着用してもよい。（色は靴下と同様）	
防寒具	・防寒具は、原則登下校時のみ着用する。 ・コート類、手袋、マフラー、ネックウォーマー、ニット帽、耳あてを着用してもよい。 ・コート類については、黒・紺・灰色などの華美でない色で、無地もしくはワンポイントのものを着用する。 ・コート類以外の防寒具については、色、柄ともに華美でないものを着用する。	
※ 防寒着・防寒具についても着用期間の指定はない。気温や体調面に応じて、各自で判断し、着用する。		
通学カバン	・色や配色は、華美でないもの ・リュックサック形式 ・原則、補助カバンだけの登校は認めない	・黒色を基調とし、華美でないリュックサック型のものを使用する。 ・原則、補助カバン（手提げカバンなど）だけの登校はしない。
頭髪	・中学生らしく清潔にしていること。 ・整髪料をつけたり、染めたり、パーマをかけたりしない。 ・襟にかかるときは、編むか黒・紺・茶のゴムでしばる。 ・前髪は目にかからない長さにするか、黒、紺、茶のピンでとめる。	
名札	クラスバッジ 	ビニール製のケースの中に紙の名札を入れる 
	①安全ピン ②ホックボタン ③名札クリップ のいずれかで留める	名札クリップで留める
	・校内では制服に必ず付けること。上着（学ラン、ブレザー）を着脱したときには、名札を付け替えて、常に名札が見える状態で制服を着用する。 ・登下校時には、名札を外す。（名札は学校に置いていって構いません。）	

《注意点》

- ・防寒着であるセーター、ベスト、トレーナー、カーディガン姿で生活しない。
(授業中は各自で判断して着脱は自由。ただし、号令時には防寒着を脱ぐもしくはブレザーを着る。)
- ・腕まくりやスラックスの裾を折り曲げて着用しない。
- ・自分のものには必ず記名をし、きちんと自己管理をする。